



知床科学委員会 しんぶん

適正利用・エコツーリズム

検討会議

NO. 12

「適正利用・エコツーリズム検討会議」は、地域関係者、行政機関等が自然遺産地域における保護と利用の望ましいあり方を模索し、知床らしい観光の未来や可能性について話し合う場です。2023年度は11月と2月に2回の会議が開催されました。

TOPIC

1

知床エコツーリズム戦略の見直し

知床エコツーリズム戦略(以下「エコツアー戦略」と略します)は、知床の観光利用に関する基本方針として2013年に策定されました。一方で、社会状況の変化や各種モニタリングの最新結果を踏まえ、10年の節目にあたる2023年から見直しについての議論を始めました。



見直しポイント1

遺産管理計画の見直し結果の反映

先行して見直し検討が行われている知床世界自然遺産地域管理計画の追記内容に基づいて、エコツアー戦略でも「良質な自然体験の提供」や「リスクマネジメント」、「利用のゾーニング」等を反映予定です。



見直しポイント2

地域主導による戦略の見直し

他地域で先行して策定されているインタープリテーション全体計画等を参考にしながら、個別部会での議論や地域関係者とのワークショップを通じて「知床ならではの価値」についての議論を深め、新たなコンテンツ創出にもつながっていきたいと考えています。

TOPIC

2

カムイワッカ湯の滝



試行事業の3年目にあたる今年度は、これまで利用制限のなかった「1の滝」を含めたカムイワッカ湯の滝全域を対象に、オンラインシステムを用いた「有料・事前予約制」に移行して実施しました。

知床を代表する魅力的なアクティビティの1つである「カムイワッカ湯ノ滝のぼり」を今後も継続的に利用できるよう、地域や関係機関との協議を行っていきます。

TOPIC

3

知床国立公園指定60周年・ 知床世界自然遺産登録20周年事業について

知床が国立公園に指定されてから2024年に60周年、また2025年には世界自然遺産に登録されてから20周年を迎えます。

これを契機に、良質な自然体験やルール、リスク管理について広く発信し、知床ならではの価値や保全の意義を再認識し、次世代に継承していく機会とするため、2024年4月から2ヶ年に渡って様々な記念事業を予定しています。関係機関や団体が例年実施している地域イベントとも連携しながら、進めていきます。



知床国立公園60周年・世界遺産20周年記念
ロゴマーク



退任のご挨拶 中川元 委員

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団業務執行理事
元知床博物館館長

2004年より知床世界自然遺産候補地科学委員会委員、
2010年より科学委員会エコツーリズム・適正利用ワーキング
グループ委員として同検討会議に参加。2024年3月退任。

ごあいさつ

知床が世界遺産登録を目指していた頃からそのお手伝いに参加し、早いもので20年が経ちました。エコツーリズム・適正利用検討会議の一員として、関係する多くの皆さんと利用と保護の両立について考え、ディスカッションを続けてきました。難しい課題もありましたが皆で議論し知恵を出し合うのは楽しい作業でもありました。

世界に誇れる知床の価値、類い希な自然とそこに育まれた人々の歴史、これを後世まで伝えて行くことが重要です。そのためには国内外から訪れる皆さんがその価値に接し、価値を知ってもらうことも必要と思っています。知床の価値を守り伝えるため、地元の皆さんとともに検討会議は歩いていくことと思います。長い間ありがとうございました。

会議の内容や調査結果
をもっと知りたい方
はコチラ
知床データセンター



[https://shiretokodata-center.
env.go.jp/index.html](https://shiretokodata-center.env.go.jp/index.html)

■制作・発行

環境省釧路自然環境事務所

〒085-8639

北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎

TEL:0154-32-7500 FAX:0154-32-7575

■発行月：2024年3月